

「地域の砂防情報アーカイブ」を活用した災害伝承の取組について ～土砂災害 啓発・伝承プロジェクト～

1 要旨・目的

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環として取り組んでいる「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」のうち、「地域の砂防情報アーカイブ」を活用した災害伝承の取組について報告する。

2 現状・背景

広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一環として、土砂災害に対する防災意識の醸成と災害の事実を後世に伝承することを目的とした「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」を推進している。

このうち、「伝承」に関する取組である「地域の砂防情報アーカイブ」は、土砂災害の記憶を次世代に語り継ぎ、地域の防災力の向上に役立てるため、地域の皆様からご提供いただいた過去の土砂災害に関する貴重な写真等を県ホームページ上で記録・公開しており、防災教育等においても活用されている。

3 概要

(1) 対象者

県民

(2) 事業内容（実施内容）

ア 「地域の砂防情報アーカイブ」を活用した取組の内容

災害伝承や防災教育等の機会を通じ過去の被災事実を伝えることを目的として、各市町や地域と連携し、砂防出前講座において「地域の砂防情報アーカイブ」に登録されている過去の災害写真等を活用した。また、「災害の記憶つなぐ人の輪づくり～土砂災害 啓発・伝承支援制度～」により、過去の土砂災害等に関するパネル等を地域が主催する土砂災害伝承パネル展に貸し出すなど、地域の災害伝承の取組を支援した。

《取組の事例》



災害伝承パネル展
 (広島市佐伯区河内公民館)



砂防出前講座
 (坂町立小屋浦小学校)

《提供を受けた災害写真等の一例》



平成30年7月豪雨災害 石碑
 [安芸郡熊野町川角]
 (提供：熊野町役場)



平成30年7月豪雨災害
 [東広島市安芸津町]
 (提供：三津地区自治会)

《取組状況》

令和3年12月末時点

取組内容	開催日	開催場所	実施主体	備考
土砂災害 伝承パネル展	土砂災害啓発ロビー展	R3.6.21～6.30	河内公民館	平成11年6月29日土砂災害
	防災パネル展示	R3.7.3～7.13	広島広域公園	安佐南区役所
	防災パネル展示	R3.7.16～7.24	佐東公民館	安佐南区役所
	防災パネル展示	R3.8.1～8.31	安佐南区社会福祉協議会	安佐南区役所
	防災パネル展示	R3.9.16～10.17	古市公民館	安佐南区役所
上記の外 13箇所				

開催校	開催日	講義概要	対象	備考	
防災教育 (砂防出前講座)	府中市立南小学校	R3.4.16	講義、模型実験	5年生	参観日に実施
	広島市立戸山中学校	R3.5.27	講義、ハザードマップ、マイタイムライン	1年生	リモート開催
	東広島市立河内中学校	R3.6.2	講義、模型実験、ハザードマップ、マイタイムライン	2年生	
	坂町立小屋浦小学校	R3.7.1	講義、現場見学	全学年	
	広島県立沼隈特別支援学校	R3.7.2	講義、模型実験、ハザードマップ	中学部3年	
	尾道市立日比崎小学校	R3.9.29	講義、避難VR動画視聴	5年生	リモート開催
	呉市立長迫小学校	R3.10.7	講義、避難VR動画視聴	4、5年生	リモート開催
	広島市立上安小学校	R3.11.29	講義、模型実験、現場見学	5年生	
	北広島町立壬生小学校	R3.12.17	講義、模型実験、避難VR動画視聴	5年生	参観日に実施
	上記の外 39校				

イ 「地域の砂防情報アーカイブ運営会議」の開催

「地域の砂防情報アーカイブ」に登録する情報の判定・調整を行う「地域の砂防情報アーカイブ運営会議」において、今年度、地域住民等から提供された過去の災害写真等約 400 点について審査いただいた上で、「地域の砂防情報アーカイブ」に追加する。

なお、当会議の開催時期等については、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、適宜適切に判断する。

【委員】

氏名	所属・役職名等
海堀 正博	広島大学防災・減災研究センター長
原田 照美	広島市自主防災会連合会顧問
岡崎 伸宏	砂防ボランティア広島県協会会長
森下 淳	広島県土木建築局砂防課長

(3) スケジュール

「地域の砂防情報アーカイブ運営会議」による審査の結果、新たに「地域の砂防情報アーカイブ」に追加されることとなった過去の災害写真等については、審査後速やかに県のホームページ上で公開する予定である。

(4) 予算（国庫・単県）

—

(5) 今後の対応

引き続き、「広島県『みんなで減災』県民総ぐるみ運動」及び「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」の一環として、市町や地域と連携し、被災後の節目となる時期等に災害伝承に関わる様々な取組を積極的に行い、地域住民自ら災害伝承できる体制づくりを目指す。

4 その他（関連情報等）

地域の砂防情報アーカイブ ホームページ

<http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/saboarchive/saboarchivemap/index.aspx>

《参考》

土砂災害 啓発・伝承プロジェクト（三本の柱） 広島県

8. 20土砂災害の教訓を踏まえ、再び同じ災害を繰り返さないためには、土砂災害に関する防災意識の醸成を図るとともに、災害の記憶を風化させず、被災の事実を後世に伝承していく必要があります。
「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」では、土砂災害への防災意識を県民へ広く啓発することに加えて、被災事実を地域に確実に伝承していく取組を積極的に実施することにより、地域防災力の向上を推進していきます。



防災意識の醸成による地域防災力の向上



「ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える」ポータルサイト

身近な土砂災害を知ろう「啓発」

- 土砂災害防止月間における集中的な情報発信
- 様々な機会を活用した啓発活動

①土砂災害から身を守る知識を身につける
 「広島県『みんなで減災!』県民総ぐるみ運動」の一環として、他部局等が実施する取組や各種イベント等と一層の連携を図り、県民への防災意識の醸成を促進することを通じて、「県民一人一人が土砂災害から身を守る知識を身につけている状態」の実現を目指します。

土砂災害について学ぼう「防災教育」

- 学校の防災教育と共同した体験授業の展開（砂防出前講座）
- 学校安全指導者に対する説明

②学校が独自に防災教育をできる体制づくり
 県教育委員会と密接な協力連携関係を築き、「学校安全指導者への防災意識を高め、各学校が独自に防災授業を実施できる体制づくり」を目指します。

土砂災害を未来に伝えよう「伝承」

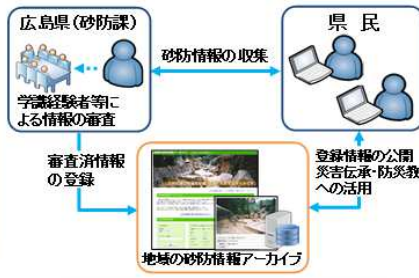
- 地域の砂防情報アーカイブの推進
- 歴史的砂防施設の保存

③地域の「語り部」を育成
 子供たちが、学校の学習発表会等の機会を通じて、親や地域の方へ、過去に身近で起きた土砂災害について発表するなど、「新たな地域の「語り部」を育成することにより、過去の災害が確実に地域住民へ伝承されていく状態」の実現を目指します。

「地域の砂防情報アーカイブ」 広島県

■概要

「地域の砂防情報アーカイブ」は、地域の皆様から提供された過去の土砂災害に関する貴重な写真等を記録・公開し、土砂災害の記録を次世代に語り継ぎ、地域の防災意識の向上を図るため、平成23年度より県ホームページ上で「地域の砂防情報アーカイブ」を運用開始し、これまでに2,126点の過去の災害写真や体験談等の資料を公開している。



「地域の砂防情報アーカイブ」イメージ

災害情報の記録・公開の一例



過去の災害情報活用事例



災害の記憶つなく人の輪づくり～土砂災害 啓発・伝承支援制度～ 広島県

県民の土砂災害に対する防災意識の醸成を図るとともに、過去の災害の記憶を伝承していくため「啓発」「防災教育」「伝承」を3本の柱とした「土砂災害 啓発・伝承プロジェクト」の取組を進めており、各市町や地域の皆様と連携した災害伝承の取組状況を踏まえ、県民のニーズに応えるため、「災害の記憶つなく人の輪づくり」～土砂災害 啓発・伝承支援制度～ を新たに創設し、地域の皆様の災害伝承の取組を支援します。

地域の防災に関する啓発活動等に対し、『つなぐキット』（土砂災害防止に関する啓発・伝承パネル及びDVDの貸出、啓発パンフレットの提供）を貸出・提供しますので、是非、ご利用ください。



■支援制度開始日：平成30年2月1日（木）13時から

■支援内容

- 土砂災害 啓発・伝承パネル貸出 105枚
- 土砂災害防止に関するDVD貸出 3種類
- 土砂災害防止に関するパンフレット提供

「ひろしまの土砂災害を知る・学ぶ・伝える」ポータルサイトホームページアドレス
<http://www.sabo.pref.hiroshima.lg.jp/densyou/>



支援制度はこちらから！

貸出する『つなぐキット』 【土砂災害 啓発・伝承パネルの一例】



貸出する『つなぐキット』 【土砂災害防止に関するDVD】



提供する『つなぐキット』 【土砂災害防止啓発パンフレット】

